

平成29年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」実施計画

1 目的

平成23年度から平成28年度の調査結果を踏まえ、引き続きこころの健康状態及び生活習慣の推移を見守るため、平成29年度においても質問紙調査を実施する。

また、支援が必要と思われる回答者を対象に電話等による支援を行うとともに、市町村等と連携し、効果的な支援を実施する。

2 対象者

平成23年時指定の避難区域等の住民

215,296人（平成29年6月6日現在）

〔避難区域等〕

広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村
南相馬市、田村市、川俣町、伊達市の一部（特定避難勧奨地点関係地区）

3 実施計画

(1) 調査方法

ア 調査票：自記式又は保護者記載

調査区分

区分	対象者	備考
0歳～3歳	平成26年4月2日から 平成29年4月1日までに生まれた方	保護者回答
4歳～6歳	平成23年4月2日から 平成26年4月1日までに生まれた方	保護者回答
小学生	平成17年4月2日から 平成23年4月1日までに生まれた方	保護者回答
中学生	平成14年4月2日から 平成17年4月1日までに生まれた方	保護者回答 （一部自記式）
一般	平成14年4月1日以前に生まれた方	自記式

イ 調査票送付日：平成30年2月上旬より順次発送

ウ 調査回答方法：郵送又はオンライン（パソコン、スマートフォン等）

（オンラインは平成28年度より実施）

(2) 主な調査項目

ア 現在のこころとからだの健康状態について

イ 生活習慣（食生活、睡眠、喫煙、運動など）について

ウ 現在の生活状況について（「一般」）

(3) 生活習慣病予防等のための取組み

今年度の調査案内時や調査結果通知時において「ふくしま健民アプリ」を活用し、県民自身が健康に関心を持ち、楽しく運動習慣を身につける等、生活習慣改善のきっかけとなるよう取組みを行う。

4 調査後の対応

(1) 回答内容を、福島県立医科大学（以下「医科大学」という。）の医師等が評価・分析する。こころの健康及び生活習慣上、相談・支援の必要があると判断された方には、臨床心理士や保健師・看護師等による「こころの健康支援チーム」が電話支援等を行う。

(2) 電話支援等により医師の診察が必要と判断された場合は、県内医療機関の「登録医師（※登録医師について参照）」を紹介する。また、継続的な支援が必要な場合には、避難元の市町村等と連携し、必要な支援を検討・提供する。

(3) 登録医師の判断により、さらに専門家によるこころのケアが必要と判断された場合には、医科大学等（通常の診療行為）で対応する。具体的には、小児においては「こどもの心診療センター」、それ以外は「心身医療科」で対応する。

(4) こころの健康支援チームが放射線に関する相談を受け、当該専門医師等の対応が必要と判断された場合には、医科大学の教員による「放射線健康相談チーム」において対応する。また、放射線の影響による健康相談等のうち、直接診察が必要な場合には、専門医師等による対応を検討する。

※ 登録医師について

こころの健康度・生活習慣に関する調査等の結果、精神科・小児科等の医師による診察が必要だと判断された場合に、その診療にあたる医師。

【登録に必要な条件】

医科大学が主催、または認定する講習会等を受講していること

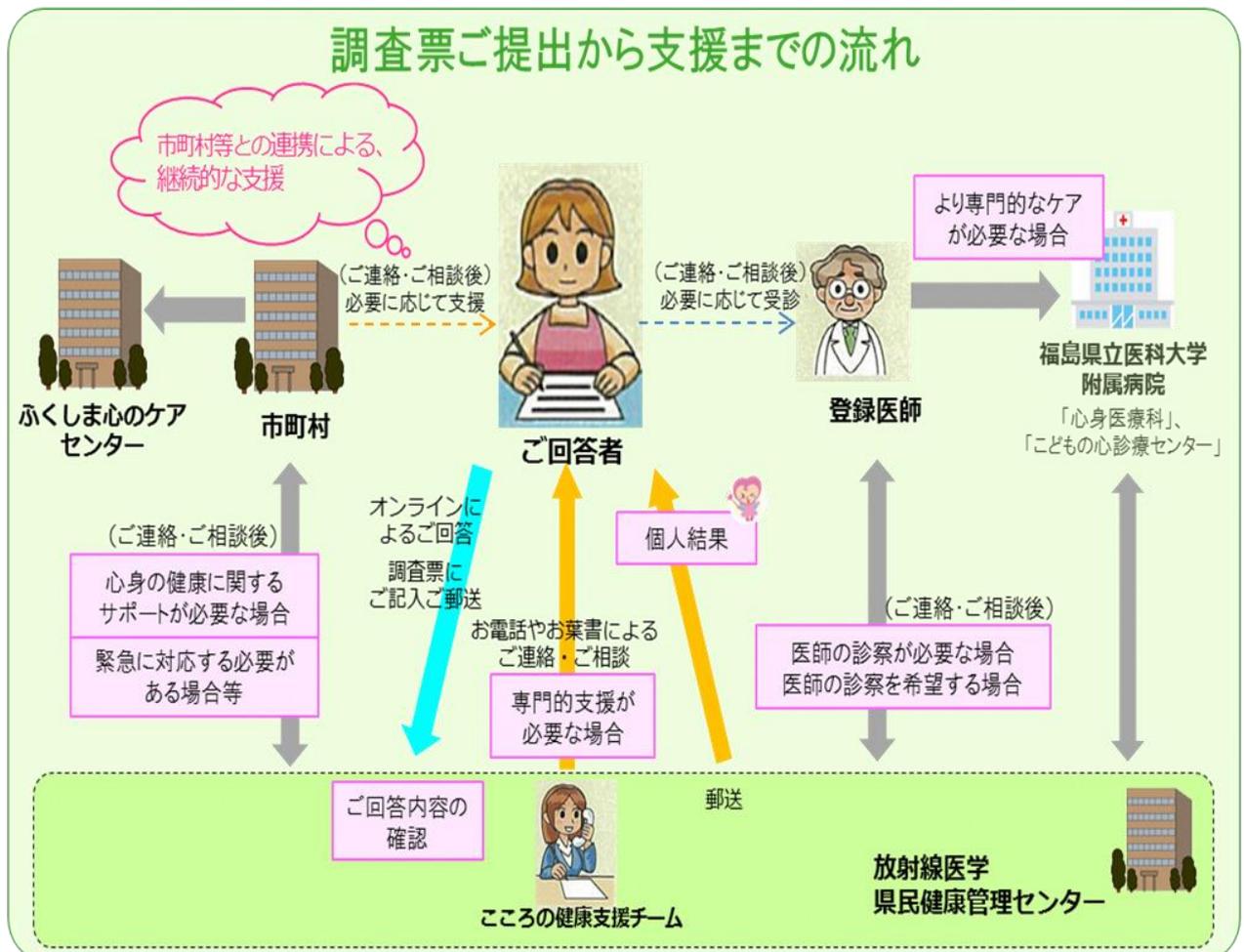
【登録数】

130名（81医療機関）（平成29年7月31日現在）

5 スケジュール（案）

年度	内容	H29	H30											
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
29年度 調査 (案)	検討委員会へ 計画提出	→												
	調査票の印刷発送			→										
	調査票の回収 データ入力			→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	H30.8月末までの 回答者へ 結果通知書を送付											→	→	
	支援対象者への支援			→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

6 調査及び支援の流れ



7 参考

「こころの健康度・生活習慣に関する調査」で使用している、こころの健康度や生活習慣の測定方法については、下記のとおり。

内容	測定方法	調べ方	項目の例
気分の 落ち込みや 不安の程度 (全般的な精神健康状態)	K6	<ul style="list-style-type: none"> ・気分の落ち込みや不安に関する6項目について、それぞれ過去30日間にどれくらいの頻度であったかを回答。 ・16歳以上【一般】を対象に実施。 ・本項目により気分障害や不安障害の可能性について、日常生活に支障をきたすレベルかどうかを判定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・神経過敏に感じましたか。 ・絶望的だと感じましたか。 <p style="text-align: right;">等</p>
飲酒	CAGE	<ul style="list-style-type: none"> ・飲酒の習慣に関する4項目について、その経験が過去30日間に「あった」または「なかった」のどちらかで回答。 ・本項目は20歳以上【一般】を対象に実施 ・本項目により問題となるような飲酒行動について判定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲酒量を減らさなければならぬと感じたことはありますか。 ・他人があなたの飲酒を批難するので気にさわったことがありますか。 <p style="text-align: right;">等</p>
子どもの こころの 健康状態	SDQ	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの情緒と行動に関する25項目について、それぞれ過去半年間にどれくらい当てはまるかを回答。 ・本項目は4歳から15歳【4-6歳】【小学生】【中学生】を対象に実施。 ・本項目により専門的な支援が必要かどうかを判定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他人の気持ちをよく気づかう ・おちつきがなく、長い間じっとしてられない <p style="text-align: right;">等</p>
トラウマ 反応	PCL	<ul style="list-style-type: none"> ・被災の体験に対して時々起こる問題や訴え(トラウマ反応)に関する17項目について、それぞれ過去30日間にどれくらいあったかを回答。 ・本項目は16歳以上【一般】を対象に実施。 ・本項目により、トラウマ反応の強さについて判定。 <p>※本項目は、本調査の趣旨を勘案すれば、災害によるトラウマ反応を計測する尺度として必須項目の一つであったが、17項目と質問数が多かったため、平成26年度・27年度には割愛せざるを得なかった。しかし、信頼性がある短縮版(4項目版)がこのたび開発されたため再度質問紙に加えることとした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そのストレス体験の、心をかき乱すような記憶を考え、イメージ(光景など)を繰り返し思い出す。 ・何かのきっかけでそのストレス体験を思い出したとき、身体が反応する。 <p style="text-align: right;">等</p>